

平成25年度第4回川崎区区民会議みんなのまちづくり部会摘録

日時：平成25年11月19日（水）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 8名

藍原 晃、赤間 靖夫、新井 一成、岩瀬 絹代、寺尾 宇一、藤岡 玲子、吉野 智佐雄、
よねやまみのる

米山 実

参与 0人

傍聴 0人

1 開会

(1) 事務局

- ・ 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明
- ・ 配付資料の確認

(2) 副区長挨拶

- ・ 本日19日が、福田新市長の初登庁となった。あいさつの中でも市民目線できやくしよきのうきょうか おこな ことなど発言された。区役所にも訪れ、今後もたびたびおり み ことなど発言され、若さとハツラツさを印象づけられた。今後区役所や区民会議について新たな方針などが明らかにされた場合は、この会議の場でも情報提供していきたい。

(3) 部会長あいさつ

2 議題

(1) 報告事項

ア 今後の審議スケジュールについて（資料1）

資料1に基き、今後の審議スケジュール案について確認した。

(2) 審議事項

ア 区民会議フォーラムについて

資料2～5に基き事務局から、11月23日（土）に開催予定の「平成25年度くみんかいぎふおーらむ がいよう すけじゅーる やくわりぶんたんとう あん しめ 区民会議フォーラム」の概要、スケジュール、役割分担等の案が示され、しつぎおうとう とうぎ 質疑応答、討議した。

■ 討議結果（資料掲載の内容に加えて確認された内容）

- ・ バス試乗は28人乗りのマイクロバスで行う。区民会議委員の事前試乗

については、戸村委員の要望を受けて川崎駅西口も通るルートで運行
予定であり、当日の混雑状況等によっては最大1時間20分ほどかかるこ
とも想定される。

- バス試乗の担当委員である戸村委員、吉野委員には、バスに同乗し、
ルートや検討経緯などについて参加者に紹介いただく。
- 定員に満たない場合、バス試乗は当日の申込も受け付ける。空きの有無
を会場内で見えやすい形で掲示するなど、参加者を募る工夫をする。
- 外国人防災訓練では、市役所の危機管理担当職員から現在想定している
訓練内容の概要説明をした上で参加者からご意見や要望を伺う場とす
る。

■主な意見（外国人市民の防災訓練に関連して）

吉野委員 「防災“訓練”」といった時に、外国の方にどのようなニュアンス
で伝わるのか気になっている。軍隊的なイメージをもたれないよう、良い
伝え方を考えたい。

新井委員 桜本地区は外国人市民が多い地区だが、町会に加入し、日本語
を積極的に学んでいる方もいる。各町会で災害時に支援が必要な外国人
市民のリストが作成できると良い。

事務局 現在の災害時要援護者の支援制度は要介護認定者などが中心とな
っている。その他外国人など手を借りたい人も登録できるが、自己申告制
になっている。

木島委員 要援護者として登録が必要な外国人は自ら申込みをしなければ、
支援対象リストに掲載されない。

事務局 プライバシーの問題もあり、こちらから勝手に個人情報提供や
利用を行えない実情がある。役所としては、外国人市民の方々にも災害
にかかる基本的な言葉や対策は覚えておいて欲しいと考えている。

吉野委員 防災に関する用語集を多言語版で発行してはどうか。

新井委員 例えば「注意」と「警告」とどちらが重いのか、分からない外国
人市民の方もいるだろう。

藍原部会長 一昨日に参加した地域の防災訓練では、トイレと水の重要性
や消火栓の開栓方法などを学んだ。消火栓につながなくても良いタンク付
の新型消防車も登場した。

米山委員 留学生などベトナム人が今後増える傾向があると聞いた。
多言語資料はベトナム語も必要になるのではないか。

3 その他

- こうえきざいだんほうじんせんだいこくさいこうりゅうきょうかいさくせい 公益財団法人仙台国際交流協会たげんごばんぼうさいけいはつえいぞう作成の多言語版防災啓発映像「地震！その時ときどうする？」を日本語版にほんごばんしちょうで試聴した。

いじょう
(以上)